

1-4 チェレド Ceredo

チェレドの岩場はアルコからもとても近く、現代のニーズにあったルートが多く、しかもよくまとまっているため、とても多くのクライマーで賑わっている。ここはあらゆるグレードが揃っていてとても登りやすい。特に同行した日本人は皆一様に登りやすいと言っていた。大きく分けるとコルネを登るタイプとガバのハングをくぐり登るタイプに分けられ、しかも日本人好みといった感である。日本で12前半が登れる人には特にお勧め。

ただし、全体的には、えることか終了点があきらかにルートが多い。ほとんどのルートで悪いムーブの最中にクランプして終わるか、もしくはチェーンを掴んで終わりである。倫理にうるさい人は今一つ納得がいかない終わり方である。中には終了点のチェーンにランジするのが核心のルートもある。アルコ周辺からチェレドにかけては腐るほど岩場があるがアプローチの簡単な所のみ開拓されている。ここもアプローチはほとんどないが、かなり入里はなれた山の中で、道路からは木に覆われて岩場は良く見えないので最初は分かりづらいかもしれない。



岩質
石灰岩

ルート

エリアは横に長くトボでは便宜上7つのエリアに分けてある。全体的にはアプローチしてきてすぐのエリアから奥へかざ行くほど難しいエリアになっている。グレードもまんべんなく揃っていてどのレベルのクライマーでも楽しめるはず。ルートもスラブ(カチカチしている)ついでからケイブ、前傾壁、コルネとなんでも揃っている。また、すべてのエリアを歩いて移動できるのでグレードの幅のあるパーティーでもピレリには困らない。ルートはほとんどがナチュラルでチッピングもあるが最小限に抑えられている。

シーズン

春から早秋。標高が高いので曇ると寒い日もある。9月後半でみぞれになった日もあった。岩場は南向きで、少々の雨でもかぶったエリアは登れる。

宿泊

近くにキャンプ場はない。フォッセとい村にはペンションがある。私たちは行ってないが、多くのクライマーはチェレドの村のピザ屋に泊まっている。ここはとても安く1人17000Lとのこと。

ショッピング

ここはかな山の上の田舎なのであまり物は揃わない。フォッセの村に小さなスーパーがある。トボは表紙が同じで新しいバージョンのものがある。アルコなど行けばこのタバコ屋でも売っている。

アプローチ

ここではMILANOから紹介する。高速E13号をVERONAまで走りVERONA, NODで降りる。次にTORENT方面に向う高速E6号と平行して走る下道12号をTORENT方面へ20キロほど走るとPERE言町を過ぎる。すると右にFOSSEの看板がある。それにしたがってヘアピンカーブを幾度も超えてフォッセの村に着く。そこからは複雑なのでトボを見て欲しいが、最終的には岩場はCEREDOの村に向う途中の道を下った途中にある。小さな木製の看板と路肩がパーキングスペースになっている。岩場はそこからは見えぬが、パーキングから10分ほど雑木林を登ると最初のエリアに着く。ミラからは3時間少々で着く。